



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-119

(2023. 3. 6)

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048  
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : [s1000790@FaceToFace.ne.jp](mailto:s1000790@FaceToFace.ne.jp)

## 西武信用金庫による女性後継者の会「SEIBU LADY LINK」設立について

～受動的に女性後継者となった方々が自信と誇りをもって経営に携わるための支援～

東京営業部 桑原 利明

### ポイント

- 経営の後継者確保が社会課題となる中、当金庫では、娘等の女性親族でも事業を承継することは可能であるとの意識の醸成を促し、取引先の事業の継続と成長を積極的に支援するため、女性後継者の会「SEIBU LADY LINK」を発足した。
- 女性の社会進出が進む中、自ら進んで経営者を目指す女性が増える一方、跡取りに男性後継者がおらず、受動的に後継者となる女性親族も一定程度存在することから、こうした女性を支援し、大切な地域の事業者・ノウハウを減らしてはいけないという当金庫（理事長）の強い思いがあった。
- 経営管理、事業承継および会員の関心の高いと思われるテーマ（家庭と仕事のバランス）の勉強会、メンター（先輩女性後継者）との相談機会を設けた交流会の実施等を通じて、事業承継および女性活躍支援を推進する。
- これまで、ありそうでなかった女性親族の「後継者」に焦点を絞った取組みであるが、想定以上に会員が集まり、好意的な反響が寄せられるなど社会的な意義の大きさが感じとれる。

### 1. 取組みの経緯等

日本では、中小企業経営者の高齢化、人口減少による後継者難が事業継続において喫緊の課題となっており、これは事業承継者を男性中心に考える伝統的な意識が強く、女性親族への事業承継に向けた支援メニューが不足していることが要因の一つと考察される。

また、近年は、女性の社会進出の機運が高まり、女性の経営者を支援する取組みは増えているものの、こうした支援策は創業者（自ら進んで経営者を目指してきた）を対象としていることが多く、いわゆる跡取りとなる女性親族の後継者に対する支援策とは異なる。

こうした中、当金庫の連携先である昭和女子大学においては、女性後継者の育成の観点から、公開講座（キャリアカレッジ「跡取り娘」人材育成コース）を開講していたが、コロナ禍で活動が制約され、オンライン開催では交流・悩みの共有などの目的を達成できないことから、2021年12月をもって終了することとなった。

当金庫は、後継者難に悩む取引先に、女性親族でも事業を承継することは可能であるとの意識を醸成し、事業の継続と成長を積極的に支援すべき、という考えの下、今般、同取組みを引き継ぎ、発展させるため、「SEIBU LADY LINK」を2022年7月に発足した。

### 2. 「SEIBU LADY LINK」の概要

#### (1) コンセプトおよび会則等について

##### ○ コンセプト

女性後継者、女性後継予定者が、自信と誇りをもって、事業承継できるように当金庫が応援すること

○ 目的

- イ. 当金庫が一体となって事業承継支援および女性活躍支援を行い、女性承継の増加を図ることで地域社会の活力を向上させること
- ロ. 女性特有の悩みに寄り添い、経営・メンタル面で伴走支援すること
- ハ. ファミリービジネスの特殊性および女性後継者が置かれている環境に対する理解が出来る当金庫職員を育成すること

○ 会員資格

当金庫と取引を有する法人の関係者であり、かつ、次のイまたはロの条件を備えた方

- イ. 原則、当該法人の事業を承継して概ね5年以内の女性後継者の方
- ロ. 当該法人の親族内承継を検討している、女性後継予定者の方

○ 年会費

無料（一部、有料の勉強会あり）

○ 主な活動

勉強会および交流会の開催

- イ. 経営管理、事業承継および会員の関心の高いと思われるテーマ（家庭と仕事のバランス）などの勉強会に加えて、他社・異業種の課題解決を通じた勉強会を開催する。
- ロ. メンター（先輩女性経営者）に相談できる機会を設けた交流会などを開催する。

○ 会員数

42名（発足当時38名）

（※ 2022年12月末時点）

(2) シンボルマークについて

シンボルマークは、事務局担当者がデザインおよびコンセプト案を企画し、発足前の当金庫内会議で決定した。



【シンボルマーク】

SEIBU LADY LINK

創業者さま・後継者さま・後継予定者さま・そのご家族の皆さま、そして、西武信用金庫それぞれの思いがつながる輪となり未来に向かって歩む女性後継者さまを支えていける場所、そんな願いをこめて…

5個の輪を重ねたモチーフをシンボルマークとし、名前には結びつけるもの、絆を意味する「リンク」を入れた。

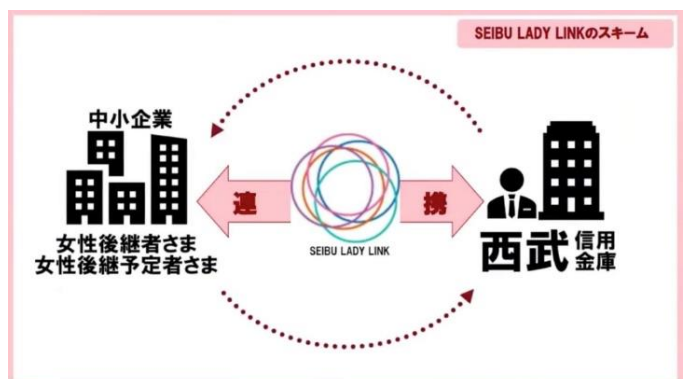
(3) 運営態勢について

SEIBU LADY LINK の設立総会において、会員の中から会長・副会長および役員を選任する。総会により、運営方針および活動方針等を決定する。

当会の活動は、総会で承認された事業計画によって実行されるが、事務局として当金庫業務企画部が活動をサポートする。当部の女性職員1名が事務局担当者を兼務し、当部の上席者（部門長および副部長）が事務局担当者に助言・サポートする体制となっている。

SEIBU LADY LINK の活動（勉強会および交流会など）では、当金庫は事務局としての関与に加え、当金庫の専門家紹介制度や産学連携に基づき、講師やメンターなどの紹介を行う。

勉強会などの開催にあたっては、当会の目的に鑑みて対面を重視している。当金庫の営業エリアは、埼玉県および神奈川県を含み、東京の東西に渡る広域であることから、開催場所については、各地域の会員が集まりやすいように地域を分散しながら選定を行う。



本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。

### 3. これまでの活動内容

2022年11月に開催した当金庫ビジネスフェア（企業展示、販路開拓およびセミナー等を通じた情報提供を目的とするフェア）に合わせて、キックオフミーティングをパネルディスカッション形式で実施し、当金庫（高橋理事長）から女性後継者の支援の必要性やSEIBU LADY LINKにかかる想いを講演したほか、会員であるパネリストから現在の課題や当会に対する期待について講演を行った。キックオフミーティング後に、会員同士の交流会を開催し、30名の参加があった。



【キックオフミーティング（11/15）の様子】

会員の属性については、以下のとおり業種・年齢等の偏りは見られない。

【業 種】 製造業、建設業、IT業、不動産業、飲食業など幅広い業種にわたる。

【年 齢】 20代4名、30代12名、40代13名、50代以上13名

【地域特性】 営業エリアの西エリア（立川市以西）19名、中央エリア（杉並区以西）10名、

東エリア（中野区以东）13名

（※ 2022年12月末時点）

### 4. 会員からの声

女性後継者からの話では、「女性後継者は目立つ存在であるため、それをポジティブにとらえ、同業者や取引先に覚えてもらいビジネスチャンスにつなげたい」といったポジティブな声がある一方、「急に後継者となったため、経営者としての心構えや能力を身に着ける機会が乏しかった」、「経営と家庭との両立が難しい」、「男性社会の慣習（ゴルフや夜の会合等）への参加が難しい」等の声が挙がっている。

SEIBU LADY LINK に対しては、同業種の交流会とは異なり、異業種で境遇に近い会員同士が、利害に捕らわれず交流することができ、さらに心理的なサポートも受けられることから、非常に心強い支援になると言われている。また、女性後継者が参加しやすい気配り（開催日時の配慮など）についても好評価を得ている。

### 5. 今後の方針

SEIBU LADY LINK の入会資格として、当金庫取引先であることを要件としたため、発足時は少人数での活動開始になると見込まれていたが、結果として当金庫の想定以上の会員が集まることとなり、女性後継者支援の問題の大きさを感じている。

今後、主な活動である勉強会および交流会については、四半期に一度の頻度で開催を予定している。その際には、当金庫の連携先の外部講師のほか、過去に同大学の「跡取り娘」人材育成コースに登壇していた講師を招いて、勉強会等を開催する予定である。

これまで、ありそうでなかった跡取りとなる女性親族の「後継者」に焦点を絞った取組みであり、実際に第1回目の交流会に参加した会員には大変喜んでもらったと感じており、地域金融機関として取り組むことの社会的意義の大きさを感じている。

当金庫は、中小企業経営継続と女性管理職の増加を目指しており、SEIBU LADY LINK の活動が全国にも広がっていくことを期待している。

以 上